

感震ブレーカーの基本動作

資料提供：一般社団法人日本配線システム工業会

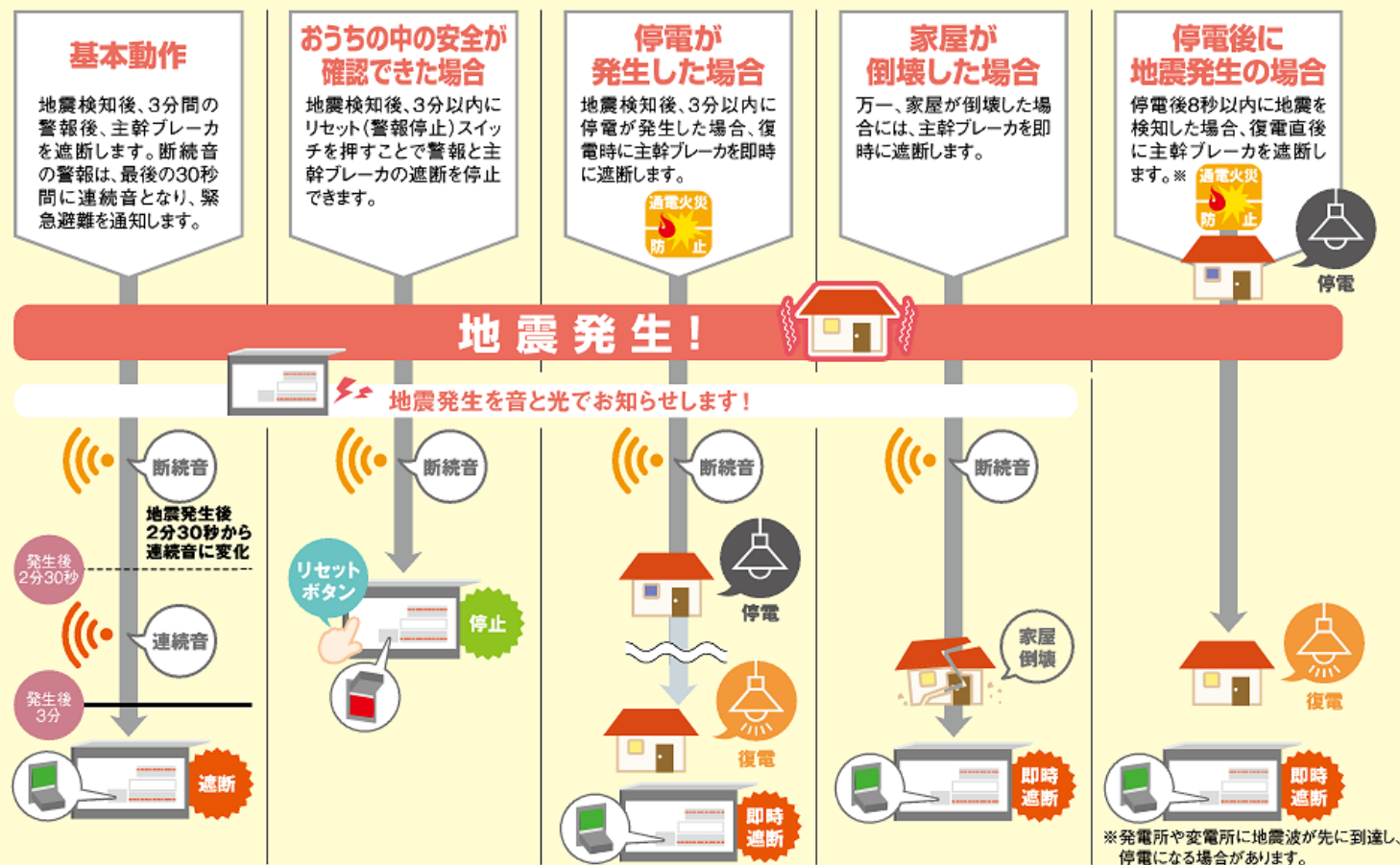
■分電盤タイプ 基本動作

感震ブレーカ機能付ホーム分電盤の仕組み

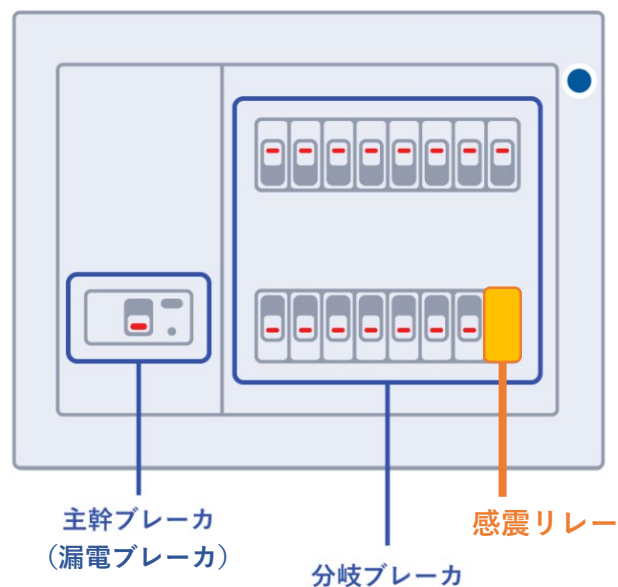
震度5強以上の揺れを感知し、ランプとブザーで警報を発します。

- ① 感震リレーが震度5強以上の地震を感知
- ② 地震を感知すると、ランプとブザーでお知らせ
- ③ 感震リレーからの信号により主幹ブレーカで電源を遮断

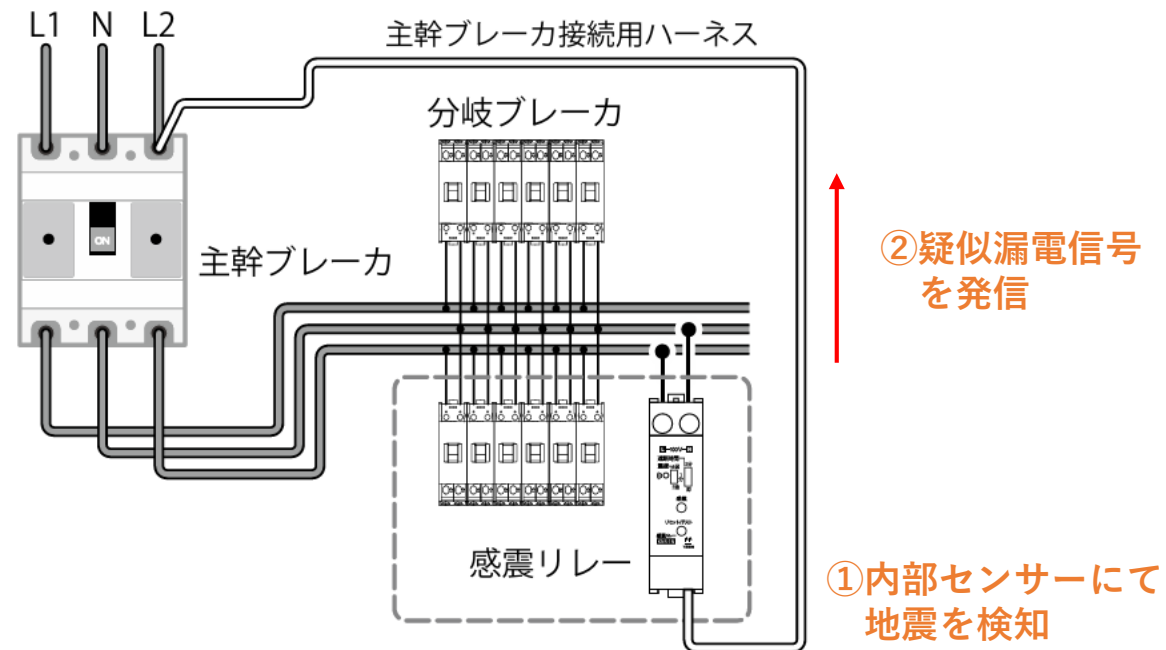
■感震リレーの動作機能



■基本動作詳細（例）



③疑似漏電信号にて ブレーカ遮断動作



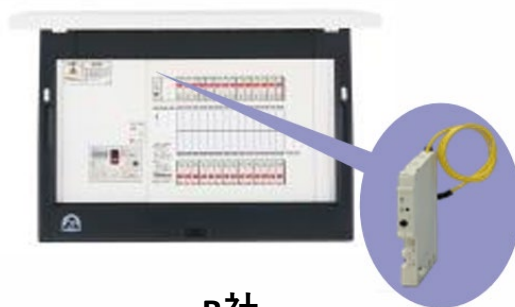
※分電盤メーカーによりブレーカの遮断方法は異なります

<各社の製品>

※分電盤メーカーによって構造が異なり、互換性はない



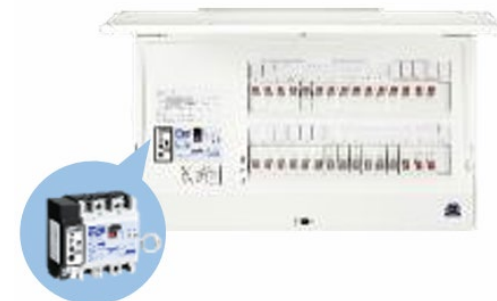
A社



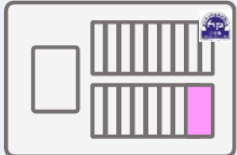
B社



C社



■分電盤タイプの設置パターン

区 分	パターン	詳 細	確認資料	認定マーク
既設住宅用分電盤又は近傍への取付	パターン 1	 既設住宅用分電盤の分岐スペースに感震装置を取付ける場合 主開閉器：漏電ブレーカ（30mA感度）	表 1： 『感震装置一覧表』	住宅用分電盤に無 （認定感震装置付であるが制度上認定マークは貼付無し）
	パターン 2	 既設住宅用分電盤の近傍に増設型感震装置を取付ける場合 主開閉器：漏電ブレーカ（30mA感度）	表 2： 『増設型感震装置一覧表』	増設型感震装置に有
新設 又は 住宅用分電盤の取替え	パターン 3	 感震装置付住宅用分電盤を取付ける場合	表 1： 『感震装置一覧表』 または 表 3： 『住宅用分電盤品番一覧表』	住宅用分電盤に有 一部マーク無 （認定マーク無の場合は、表1感震装置品番を確認下さい）
	パターン 4	 標準の住宅用分電盤に感震装置を搭載して出荷された住宅盤を取付ける場合	表 1： 『感震装置一覧表』	住宅用分電盤に有

<分電盤 認証ラベル>

- ・スタンダード住宅用分電盤



- ・高機能住宅用分電盤



『感震機能』
『過電流機能』のいずれかを搭載
『避雷機能』

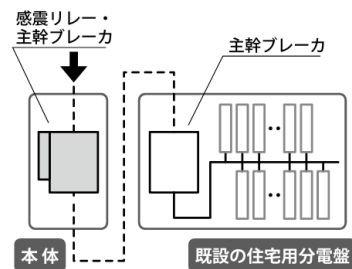
■分電盤タイプ（後付型）

①増設型の感震ブレーカが分電盤と違うメーカーの場合

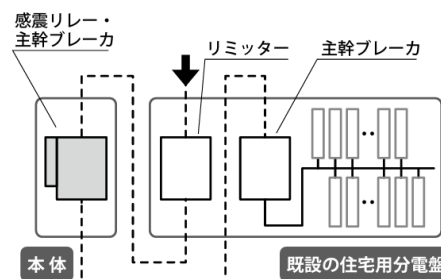
- 感震ブレーカ盤として「感震リレー」と「主幹ブレーカ」セットの仕様



施工例① リミッタスペースなしタイプ



施工例② リミッタスペース付タイプ



<各社の製品>



既存の住宅用分電盤のメーカーや種類に関わらず設置が可能

②増設型の感震ブレーカが分電盤と同じメーカーの場合

- 「感震リレー」が独立している
- 主幹ブレーカの動作保証の観点で既存の住宅用分電盤と同じメーカーでの必要あり



<各社の製品>



既存の住宅用分電盤と同じメーカーの製品を設置する必要がある

■感震ブレーカ 利用パターン

① 分電盤タイプ（内蔵型）	②－１ 分電盤タイプ（後付型） 『感震リレー・主幹』	③－１ (参考)※ コンセントタイプ 『コンセントOFF機能』	④ (参考)※ 簡易タイプ
	②－２ 分電盤タイプ（後付型） 『感震リレー』	③－２ (参考)※ コンセントタイプ 『分電盤OFF機能』	

(参考)※：日本配線システム工業会で扱っている商品ではありません。

[新設・既設]

[分電盤の仕様]

[選定タイプ]

